

2012年5月8日

各位

JXホールディングス株式会社

「童話の花束（その42）」の外国語版発行について

当社（東京都千代田区大手町二丁目、社長：高萩光紀）は、JX童話賞作品集「童話の花束（その42）」を広く海外に紹介するため、このたび、英語翻訳版とアラビア語翻訳版を発行しましたのでお知らせいたします。

このうちアラビア語翻訳版については、5月3日に、日本・UAEの国交樹立40周年を記念して現地で執り行われた「日本人学校校舎移転・日本文化センター開設記念式典」において、出席者に配布いたしました。

今後も中東各国の教育機関等への配布を始め、JXグループの海外拠点を中心に、「JX童話賞」の取り組みを広く紹介していく予定です。



UAE（アラブ首長国連邦）での
式典出席者への本作品集配布の様子



「童話の花束（その42）」英語翻訳版

以上

※参考資料：JX童話賞および「童話の花束」とは

■ J X 童話賞および「童話の花束」とは

1. J X 童話賞

J X グループでは、1970年から40年以上にわたり、毎年「心のふれあい」をテーマに一般の方々からオリジナルの創作童話を募集し、優れた作品を3部門（一般の部、中学生の部および小学生以下の部）に分けて表彰しています。これまでにご応募いただいた作品数は約28万編となります。また、第43回J X 童話賞からは、全国連合小学校長会、全日本中学校長会および全国市町村教育委員会連合会の後援を受けています。

2. J X 童話集「童話の花束」

J X 童話賞において佳作以上に入選した作品は、毎年、一冊の童話集「童話の花束」にまとめられます。

「童話の花束」はご応募いただいた方々全員にお送りするほか、福祉団体を通じて全国の教育機関や施設などにも寄贈しています。また、昨年は、東日本大震災によって避難所生活を余儀なくされた子どもたちをはじめ、被災地の皆様に約1万3千冊の「童話の花束(その41)」をお届けしました。

昨年11月に授賞式が行われた第42回J X 童話賞の入選作品集「童話の花束(その42)」の中には、東日本大震災を扱った作品が4編含まれています。そのどれもが、温かな「心のふれあい」を感じられる感慨深い作品となっており、すでにお届けした被災地の方々から大きな反響をいただいています。

3. J X 童話基金による社会貢献活動

「童話の花束」は、J X グループ各社やその役員・従業員はもちろんのこと、ENEOSのサービスステーション（SS）を運営する特約店の皆様にもご購入いただいています。その売上金はすべて「J X 童話基金」に組入れられ、次世代を担う子どもたちの支援に充てられています。「J X 童話基金」による活動内容は、以下のとおりです。

(1) J X 奨学助成制度

社会福祉法人全国社会福祉協議会様に設立していただいた「J X 奨学助成制度」により、児童養護施設、母子生活支援施設および里親家庭の子どもたちが、大学や専門学校などに進学する際の入学支度金の一部として、1人あたり10万円を助成しています。

2010年度（2011年4月入学）は320名の子どもたちが受給し、2003年度以降これまでの受給者数は2,197名となりました。

(2) 被災地の子どもたちの支援

東日本大震災で被災された子どもたちの支援にも役立てられています。

昨年は、岩手・宮城・福島・茨城の各県にある被害の大きかった10箇所の児童養護施設に対して、1施設あたり100万円、合計1千万円を寄付し、子どもたちの心のケアに役立てていただきました。

4. 環境保全にも配慮

J X グループは、石油や銅といった地球資源に深いかかわりを持つ事業を展開していることから、あらゆる事業活動の場で環境負荷低減に努めています。

「童話の花束」に使用する製紙原料は、J X グループが森林整備に取り組んでいる地域の間伐材が活用され、国内の森林による二酸化炭素吸収量拡大に貢献しています。

J X グループは、「童話の花束」を通じて、国内の森林保全を推進する林野庁の「木づかい運動」を応援しています。